

Bibliophiles

ビブリアファイルズ No.9(2017年度)

新着図書案内・お知らせ 西宮東高校図書館

(ここで紹介するのは新しい本の一部です。)



『地頭力を鍛える』 細谷功

今や、誰もがスマートフォンを持つようになって、「知識の量」では個人差がなくなり、「知識を利用して考える力=地頭(じあたま)力」こそが必要である、と筆者は考えます。そこで登場するのが、地頭力を鍛えるトレーニングです。以下の問題を、スマホで調べることなく解いてみて下さい。「日本全国に電柱は何本あるか?」「琵琶湖の水は何滴あるか?」・・・どういう風に考えれば正解に近くなるのか、詳しくは本書を手にとってみて下さい。

『ジャン・シベリウス 交響曲でたどる生涯』 松原千振

日本で数少ないプロの合唱団である東京混声合唱団。その正指揮者であられる松原氏はまた、北欧フィンランドを代表する作曲家・シベリウスの研究でも知られています。氏は、フィンランドの自然を表現したとも言われる彼の交響曲の解説を軸に、この作曲家の詳しい伝記を書き上げられました。豊富な写真や楽譜による解説が、とても参考になります。なお、本書は松原氏ご自身の意志で本図書館に寄贈なさったものです。

『戦争にチャンスを与えよ』 エドワード・ルトワック

元ビートルズのジョン・レノンの反戦歌『平和を我らに Give peace a chance』、どこかで聞いたことがありますよね?この本のタイトルは、あの歌をもじったものですが、もちろん単なる戦争賛美の本ではありません。国連などによる難民支援などの「介入」が、かえって戦争を長引かせる、戦争をやるのが戦争を終わらせる、というのが筆者の主張です。尖閣諸島や北朝鮮のミサイル問題にも、具体的な提言をしていますよ。

『数学の広場』シリーズ、全9巻 入りました。

東京工業大学教授で小さい子どもたちへの数学教育にも情熱を燃やした遠山啓(とおやま ひらく 1909-1979)の、数学への入門書です。1978年に出たシリーズですが、「名著」の復活を望む声が強くと、2013年に復刻されました。数学の面白さをぜひ手に取って感じてみて下さい。なお、イラストは「アンパンマン」の生みの親のやなせたかしです。

伊坂幸太郎の『陽気なギャング』シリーズ、全3冊入りました。(生徒による選書です。)

映画化された『陽気なギャングが地球を回す』のほか、『陽気なギャングの日常と襲撃』、9年ぶりの新作となる『陽気なギャングは三つ数えろ』です。特殊な能力を持つ4人組の銀行強盗たちが主人公で、彼らはおのおの、「嘘を見抜く」「演説」「スリ」「体内時計」の特殊能力を持っています。そして強盗はしても「人を傷付けない」ことをポリシーとしています。・・・ミステリーにコミカルな要素を加え、話の展開の面白さも定評のある作品群をどうぞ。

『まんがでわかる 伝え方が9割』佐々木圭一 ほか

ベストセラーになった『伝え方が9割』のマンガ版です。主人公の女性誌編集員の若い女の子は、いつか自分の理想の雑誌を作りたいと夢見ていますが、いつも「伝え方」で失敗し、情熱が空回りするだけで仕事がうまくいきません。ある日彼女はとある本屋で、不思議なおネエ系の人と口論になり・・・コミュニケーション力を磨きたい人はぜひご一読を。

『ロアルド・ダールが英語で楽しく読める本』 コスモピア編集部・編

ミステリー作家としても有名なダールの、児童文学6作品(「チャーリーとチョコレート工場」など)を選んで、名場面の英語と日本語訳、また解説などを載せています。もちろん英語の学習にもなりますし、英語で読むとダジャレなんかも良く分かりますよ。お試しあれ。

『大人の語彙力が面白いほど身につく本』 話題の達人倶楽部・編

「享年45歳」「自我自賛」「泣かず飛ばず」・・・もしやこんな日本語を使っていますか?この本は発売数か月で売り上げが10万部を超え、第2弾も発売されています。日本語力アップに、ぜひどうぞ。

『その調理、9割の栄養捨ててます!』 東京慈恵医大附属病院栄養部

「ニラの根元はみじん切りにすべきだが、葉はみじん切りNG」「トマトは冷蔵庫NG、常温保存」「イチゴのヘタは手で取るべし」・・・これらは全て栄養価を高めるための調理法です。慈恵医科大の食事はすばらしい、と入院患者からの絶大な支持を得ており、レシピ本も出版していましたが、このたび栄養本も出しました。ご一読を。



今号のひとこと

You'll never find a rainbow
If you're looking down.
下を向いていたら、虹を見つけることは決してない。
チャールズ・スペンサー・チャップリン(1889-1977)

この格言は結構人気があるようで、この言葉(英語)がプリントされたTシャツが日本で普通にネット販売されているのを見つけて、驚きました。(笑)確かに、つらい時とかに励まされそうな言葉ですよ。

それはともかく、「喜劇王」チャップリンはつらい子供時代を過ごしました。12歳で父親がアルコール中毒で死去し、母は心の病を患い病院に入ります。そのため彼は孤児院で生活し、また生きるためにガラス職人や床屋など様々な仕事を体験しましたが、「下を向いていなかった」からこそ、彼は虹を見つけられたのでしょね。